

岡山県学校図書館協議会司書部会のあゆみ（平成25年度～）

■ 沿 革 ※平成24年度以前はHP参照

- 平成25年
- ・岡山市では、正規職員2名退職後、嘱託2名補充。
 - ・玉野市では、市費正規職員を2名採用し、正規職員1名・嘱託職員1名の退職後を補充。
 - ・津山市では、児童数増減により、非常勤嘱託員2名退職後、市費非常勤嘱託員3名採用。市費非常勤嘱託職員1名増、市費臨時職員1名減。
- 平成26年
- ・岡山市では、正規職員1名退職後、嘱託1名補充。
 - ・和気郡では、臨時職員1名増で、3人で4校兼任。
 - ・加賀郡では、3校の中学校が統合となり、4人で13校兼任から10校兼任となる。
 - ・倉敷市では、嘱託退職後は5年期限の嘱託を採用。
 - ・早島町では、正規職員が1名減となる。
 - ・新見市では、中学校1校のみ専任でそれ以外は図書館事務職員2名が11校ずつ兼務。
 - ・津山市では、1校廃校になり臨時職員1名減。
- 平成27年
- ・岡山市では、正規職員1名退職後、嘱託1名補充。
 - ・和気郡では、嘱託職員1名減で、2人で4校兼任。
 - ・玉野市では、正規職員1名退職後、再任用嘱託職員1名を補充。
 - ・早島町では、嘱託職員1名増。
 - ・鏡野町では、本年度より正規職員1名配置。
 - ・奈義町では、本年度より臨時職員1名配置。
 - ・市立高等学校では、嘱託職員1名減。
- 平成28年
- ・岡山市では、正規職員2名退職後、嘱託2名補充。
 - ・和気郡では、臨時職員1名増で、1人で2校兼任。
 - ・倉敷市では、5年有期嘱託が11名、臨時2名が退職。5年有期嘱託12名（うち3名新採用）、臨時1名を配置。
 - ・早島町では、嘱託職員1名減。
- 平成29年
- ・岡山市では、正規職員2名退職後、嘱託2名補充。
 - ・赤磐市では小学校2校兼務者が3名から2名に。専任が2名増。
 - ・和気町では、統廃合により4校減。兼務が無くなり全校専任に。
 - ・備前市では、全校専任に。司書は9名から15名に。
 - ・倉敷市では、嘱託2名、5年有期嘱託11名が退職。5年有期嘱託13名（うち7名新採用）を配置。
 - ・早島町では、中学校に司書配置が復活。
 - ・高梁市では、統廃合で中学校が1校減。
 - ・真庭市では兼務ではあるが、中学校は全校配置、小学校も9校に配置。
- 平成30年
- ・岡山市では、正規職員1名退職後、嘱託1名補充。
 - ・倉敷市では、5年期限の職員が、昨年より6人増。
 - ・笠岡市では、統廃合により市立大島東小学校が閉校し、小学校が1校減。3校兼務者が8名から7名に減。
 - ・高梁市では、全校配置が前提であるが、6月現在で4校に学校司書が未配置状態。現職の学校司書4名が、兼務校を増やして対応している。
 - ・新見市では、9名の職員が22校を兼務。

- ・ 苫田郡鏡野町では、昨年度まで町立鏡野中学校の専任だった正規職員の司書が、鏡野町立図書館に異動。中学校には週4日、計12時間勤務となる。
- ・ 勝田郡奈義町では、昨年度まで奈義小学校に所属し中学校を兼務していた職員に代わり、今年度は町立図書館の司書2名が、小・中学校をそれぞれ公共図書館と兼務している。
- ・ 真庭市では4校（水田小・上水田小・中津井小・砦部小）が閉校。臨時職員7名で、小・中学校18校を兼務。中学校は全校配置。小学校は司書配置校12校、未配地校9校。
- ・ 県立高等学校は、正規職員2名が県立図書館へ異動。臨時職員2名の採用。
- ・ 特別支援学校で、学校司書が配置されているのは、倉敷市立倉敷支援学校のみ。

令和元年

- ・ 50周年記念大会を開催する。
- ・ 岡山市では、正規職員3名退職後、嘱託職員3名で補充。
- ・ 赤磐市では、小学校専任が2名増。
- ・ 瀬戸内市では、小学校の兼務がなくなり小学校全校に専任配置。
- ・ 倉敷市では、5年期限の職員が1名増。
- ・ 笠岡市では、白石小学校が休校になり小学校1校減。小学校専任1名配置。
- ・ 小田郡矢掛町では、町立図書館司書が小・中学校の兼務をしていることを確認。
- ・ 新見市では、2館の公共図書館から兼務がきていたが今年度は新見市立中央図書館のみ。
- ・ 久米郡美咲町では、公共図書館司書8名が兼務で小・中学校に配置されていることを確認。
- ・ 真庭市では、二川小学校が休校になり小学校1校減。
- ・ 美作市では、兼任が4名増。
- ・ 中高一貫校では、専任正規司書が1名配置。

令和2年

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第43回岡山県学校司書研究協議会を中止した。それに伴い、総会資料をHPで公開し、書面決議を行った。
- ・ 地方公務員法及び地方自治法の改正により、ほとんどの自治体で、これまで嘱託職員や臨時職員として配置されていた学校司書が会計年度任用職員になった。
- ・ 岡山市では、正規職員4名退職と岡山市教育委員会へ1名異動により正規5名減。嘱託職員（会計年度任用職員）も1名減。再任用職員6名で補充。
- ・ 赤磐市では、司書16名全員が会計年度任用職員となり、正規職員1名減。（昨年度は、正規1名、臨時11名、非常勤3名）
- ・ 加賀郡吉備中央町では、臨時職員（パートタイム会計年度任用職員）が1名減。
- ・ 笠岡市では、北木中学校が休校になり、中学校1校減。3校兼務者が7名から6名に減少。
- ・ 新見市では、学校教育課採用臨時図書事務としての配置（3名）がなくなり、代わりに新見市立中央図書館司書が4名増の7名での兼務になった。
- ・ 苫田郡鏡野町では、1名減で今年度から配置無しとなった。
- ・ 真庭市では、今年度中央図書館から2名の司書を小学校8校に派遣し、9名の司書で全校配置となった。従来から勤務していた学校司書7名のうち4名は今年度より真庭市教育委員会所属となった。
- ・ 真庭郡新庄村では、平成24年度以降未配置だったが新たに1名配置（新庄村教育委員会の所属）。
- ・ 美作市では、嘱託職員（会計年度任用職員）が1名増で、9名での兼務になった。

- 令和3年
- ・岡山市では、正規職員2名の退職を公共図書館からの正規司書1名の異動と会計年度任用職員1名の採用で補充したため、正規職員が1名減となった。
 - ・赤磐市では、会計年度任用職員が1名増員されたことで兼務が解消され、今年から1校1名の全校配置になった。
 - ・加賀郡吉備中央町では、会計年度任用職員が1名増員されたことで、小学校1校が専任になった。
 - ・倉敷市では長年1校1名全校配置を堅持してきたが、児童数の減少により司書が1名減となり、司書未配置校が生じることになった。
 - ・浅口市、高梁市、久米郡美咲町、真庭市では、兼務ながらも全校に司書が配置されていたが、司書の欠員や少子化を理由に司書未配置校が生じることになった。
 - ・苫田郡鏡野町では、新たに2名の会計年度任用職員が配置され、兼務ではあるものの全校が司書配置校になった。
 - ・美作市では、会計年度任用職員が1名減となり8人での兼務になった。
 - ・備中地区では、司書不在だった私立高校が中学部新設で中高一貫校になったのを機に正規職員の司書が1名配置された。
- 令和4年
- ・岡山市では、小学校4校と中学校1校を再編、義務教育学校が新設された。義務教育学校には2名が配置されたため、司書数は3名減。正規職員は、退職（その後再任用職員）により1名減となった。
 - ・備前市は、調査時点では未配置校1校となっていたが、該当の小学校に6月から会計年度任用職員が配置され、1校1名全校配置に戻った。
 - ・倉敷市では2校が閉校・休校となり、司書数は1名減となったが、昨年度生じた未配置校は解消、1校1名全校配置に戻った。
 - ・浅口市では会計年度任用職員が2名増員され、全校配置となった。
 - ・笠岡市では小・中学校それぞれ1校ずつが休校となり学校数は減ったが、司書数は昨年度と同数を保持し、9名で22校の配置となっている。
 - ・高梁市は小学校1校が休校となったが、会計年度任用職員が2名増え、全校配置となった。小学校には専任の司書が1名配置されていたが、今年度は中学校にも専任の司書が1名配置された。
 - ・新見市と美作市は学校数や全校配置の体制は変わらないものの、司書の数は減少し、1人当たりの兼務校数が増えている。
 - ・久米郡美咲町では、公立図書館からの派遣が1名増え、小学校の未配置校は2校から1校に減少した。
 - ・真庭市では、司書数の増減はないが、公立図書館からの派遣先に昨年度未配置であった小学校1校が追加され、全校配置に戻った。